

新年度予算を

斬る!!

会 計 別		予算額(円)	対前年度比(%)
一 般 会 計		59億7,000万	113.71%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	4億9,500万	105.32%
	農 業 集 落 排 水 処 理 施 設 事 業	1億8,200万	117.42%
	土 地 取 得	1,080万	100.19%
	介 護 保 険	4億4,075万	99.97%
	後 期 高 齢 者 医 療	6,470万	83.27%
合 計		71億6,325万	111.85%

一般会計

村税

問 平成30年度の最終予算では村税は約40億円となったが、31年度も決算に近づく頃にはさらに村税が増えると考えていいか。

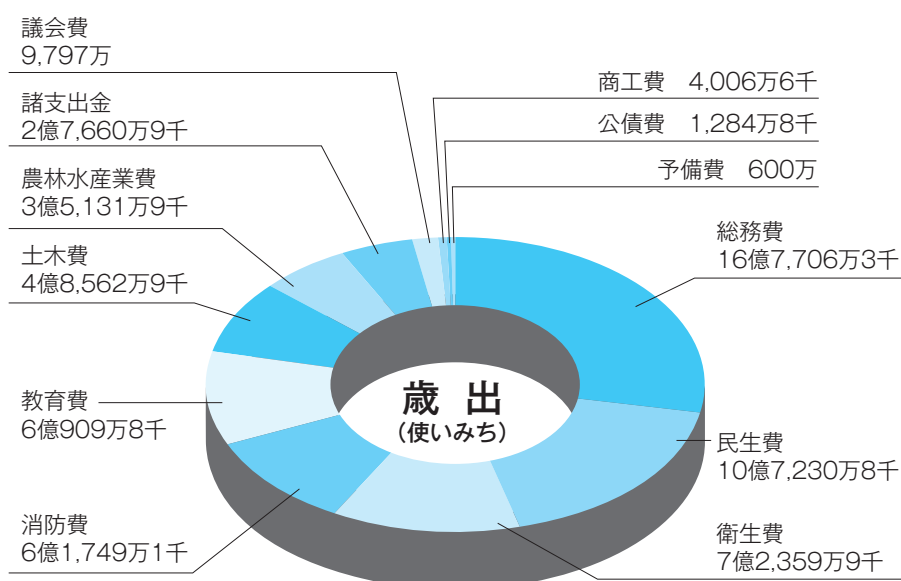
答 当初の予算編成にあたっては前年度当初予算をベースに編成している。税収については全体的に堅調であるのでそのように理解していいと考える。

利子及び配当金

問 基金利子の平成29年度決算は3千万円の収入となったが、平成30年度・31年度の見込みは。

答 平成29年度は利率が大変良かったが、その後は大幅に下がっている。両年度とも約2千万円と見込んでい

一般会計予算 59億



役場庁舎大規模改修工事

問 2期工事の予算で7億3千万円が組んであるが、どのような計画か。

答 1期工事では躯体に

自動運転実証実験

問 自動運転実証実験の

影響のある耐震工事、屋上・外壁の防水工事を進めている。新年度予算の2期工事では建物の内装・電気機械等の改修を進める。

答 1640万円の根拠は、車両のレンタル費用500万円、ソフト開発費用250万円、通信費・車両の維持管理費540万円等となっている。

問 名古屋大学や民間企業が研究を行うのに、

村がレンタル代やソフトの開発費を計上するのはなぜか。

答 村は実験の主體的なメンバーの一員として、名古屋大学をはじめ測量会社・ベンチャー企業・保険会社と連携し実験に取り組む。



自動運転車両

問 こういう開発は将来的に利益を上げるため

企業が大学や研究者に投資することが一般的だが、飛鳥村にどんなメリットがあるのか。

答 目的として交通弱者

の移動手段の確保、実証実験を行うことで優

先的に飛鳥村から環境が整うのではないかと
いう期待、実験を行う
ことで社会的な意識の
醸成を期待している。

問 研究が成功するとは限らないが、村民の税金を使ってまでやる必要があるのか。

答 実証実験の中で住民の方に乗っていたり、機会を検討している。ソフト開発には村も実験に携わる必要があると考える。

地域リハビリテーション活動支援事業

問 内容を具体的に説明を。

答 介護予防事業の一環として敬老センターの運動実践室で健康運動指導士と理学療法士に委託して事業を行っている。

問 理学療法士の委託はどうなっているか。

答 借行会とヴィラとびしまに委託契約をして派遣していただいている。



敬老センター運動実践室

温水プール

問 更衣室の清掃は、清掃業者が定期的に清掃を行っているが、ロッカーの中や床の水拭きのような簡単な掃除はプールの管理業者が頻繁にできるよう、業務を見直したほうがいいと思うがどうか。

答 管理業者も簡単な清掃はするが、専門分野があり責任もそれぞれにあるので、責任の所在を明確にし、適正な

管理に努めていきたい。



プール更衣室

道路情報便覧システム

問 村内を大型特殊車両がとでも多く通る。道路情報便覧システムを使って許可が出るなら、住民の安全を守るために大型車両を通さないよう村から言わないといけないと思うがどうか。

答 村は国が管理する道路情報便覧システムに、特殊車両が道路の構造上通過できる路線や交差点を登録するもので、一般村道への特殊車両の通行を許可するもの

残土

ではない。システムの
中で審査し許可が出る
もので、村へ直接書類
は来ないことを理解い
ただきたい。

問 新政に堤防と同じくらいの高さの残土があるが、どこから来たもので今後どうするのか。

答 国土交通省・ネクスコ等が進めている名古屋環状2号線の工事から発生した残土を仮置きで置いている。今後飛鳥村が発注する工事で利用できれば利用する。



工事で発生した残土

討論

反対：橋本 渉 議員

飛鳥村は豊かな財政を持つ村であるので、住民が豊かな暮らしのできるような政治を進めることが必要だ。国民健康保険料の値下げやお年寄りの医療費無料化、小中学校の給食費の無料化などを行うことによって住民負担の軽減を推し進め、豊かな暮らしができるような施策を推し進めるべきだと考え反対する。

賛成：渡邊 一弘 議員

事業実施に伴い、事業の効果等の検討を重ね、村民が安心して安全な安定した生活ができること、並びに村民のニーズを的確に反映させ住民サービスを低下させることのないようお願い、経費節減を念頭に計画的、効率的な財政運営を強く要望し賛成する。

(賛成8 反対1で可決)

特別会計

国民健康保険

問 31年度の予算の見通しはどのように見ているか。

答 前年度当初予算と比べると一般会計からの繰り入れは減額予算とになっているものの、一般会計からの繰り入れで国保税の負担増をせずに対応できると考えている。

問 29年度決算では基金に4千万円、30年度は3500万円を入れている。これだけの余裕があるなら値上げしなだけでなく値下げも十分できると思う。担当課長はどう見るか。

答 国民健康保険運営協議会の委員の方と協議し、報告させていただく。

問 加入者からみるとこれだけ余裕があるなら

値下げしてほしいと思うが、村長はどう思うか。

答 基金にゆとりがあるとは思っていない。一般会計からの繰り入れはやめなさいと言われる中、一般会計へ返すべき金額を基金へ積んでいる。この先高齢化で支出が増えていったときにその基金の中から補てんをし、できる限り保険税の値上げをしないような方策をとっていくためである。

討論

反対：橋本 渉 議員

国民健康保険は保険税が大変高くて、住民の負担が大きくなっている豊かな財政のある村であるなら、そこに住む人たちが豊かに暮らせるように少しでも負担の軽減を推し進めるべきだと思うが、今はそのようになっ

ていないため反対する。

賛成：鈴木 康祐議員

愛知県が財政運営の主体となり2年目を迎える。保険税を値上げせず国保財源を維持することは困難な中、住民への負担軽減に積極的に取り組んでいると思う。今後も保険事業の充実と国民健康保険の健全な運営を望み賛成する。

(賛成8反対1で可決)

農業集落排水処理施設事業

(全員賛成で可決)

土地取得

(全員賛成で可決)

介護保険

問 介護保険料が非常に高いと加入者から苦情が出ていますが、平成31年度の見通しは。

答 およそ4億4千万円の予算となっており、そのうち4億円程度が保険給付費である。

討論

反対：橋本 渉 議員

問 今年度は基準額で2千円ほど値下げとなった。3年ごとの見直しなので分らないが、値下げできる可能性はあるのではないかと

思うがそのあたりの判断はどうか。

答 第1号被保険者は1300名弱で増えてきている。介護保険を受けてみえるおよそ200名のうち8割以上は75歳以上である。高齢化が進む中、介護予防でできることは行い、介護が必要になった時には適切な介護が受けられるよう、持続可能性も含め検討していきたい。

賛成：上田 光彦議員

この予算は介護サービス事業を実施するうえで必要な予算であり、適正かつ妥当なものと考えている。介護サービス・介護予防事業等の充実を図るとともに、適正な介護保険の運営に努めることを要望し、安心して暮らせる村となることを切に願い賛成する。

(賛成8反対1で可決)

後期高齢者医療

討論

反対：橋本 渉 議員

この会計はお年寄りに対する医療費負担の増大を図るとともに療養費のサービス等々の低下も行い、お年寄りが大病院にかかりにくくなってきた原因になっている。こういった会計であるので反対する。

賛成：小川 政徳議員

年々増加する高齢者の医療費を国民全員で支援し、また高齢者の方々にも医療費の一部を負担していただくという、相互扶助にのっとった制度である。高齢者の方々に安心して医療を受けていただくためには必要な制度と考え賛成する。

(賛成8反対1で可決)